









安全上のご注意

表示について



本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|--|
|  警告 … | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 … | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |





表示の例

| | |
|--|--|
|  |  記号は注意を促す内容があることを告げるものです。 |
|  |  記号は禁止の行為であることを告げるものです。  の中に具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は、“分解禁止”を表します) |
|  | 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 の中に具体的な指示内容が描かれています(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します)。 |




警告

| | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。・延長コードの使用は避けてください。・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。 |


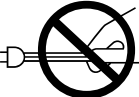


本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

| | |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザーを使用している機器の場合はレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。・ この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザーを使用している機器の場合はレーザー光線による被爆の恐れやレーザー光洩れにより失明の恐れがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。・ 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。機械の上に置いたものがこぼれたり、機械の中に入った場合、火災や感電の原因になります。 |

注意

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動するとき、必ず左右 2 箇所の移動用取っ手を持ち、キャスターロックを外してから移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。 |

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。・ 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。 |

お願い

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、商工業地域で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

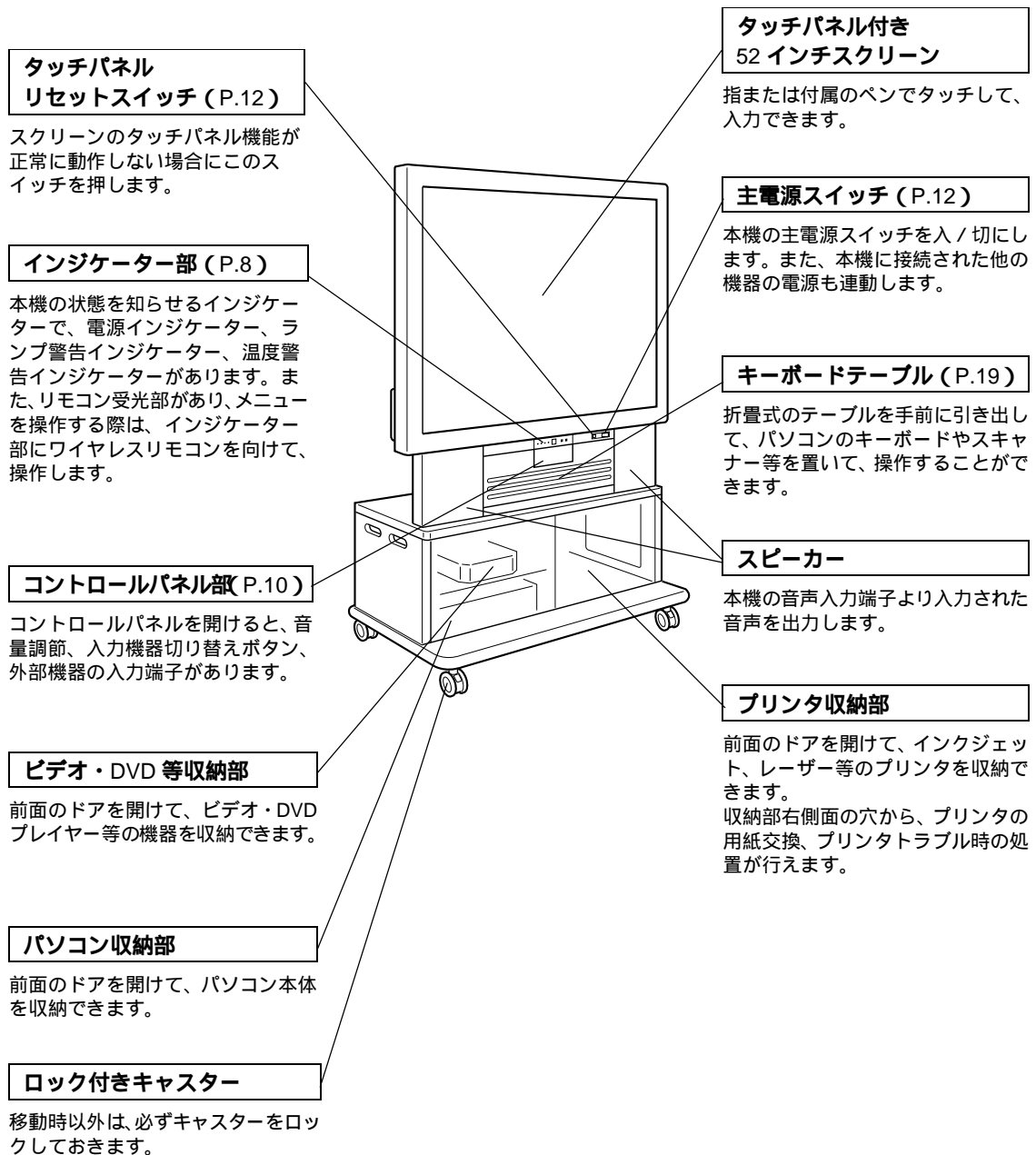
目次

| | |
|---------------------|----|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 1 各部の名称とはたらき | 6 |
| 本体正面 | 6 |
| 本体背面 | 7 |
| 本体端子部 | 8 |
| インジケーター | 9 |
| コントロールパネル | 11 |
| 主電源スイッチ | 13 |
| ワイヤレスリモコン | 14 |
| 2 使用前の準備 | 15 |
| 本機の据付方法 | 15 |
| ワイヤレスリモコンの取り扱い | 16 |
| 電源の接続方法 | 17 |
| パソコンの接続方法 | 19 |
| キーボードやスキャナーの設置 | 20 |
| 他の機器の接続方法 | 21 |
| 3 使用方法 | 23 |
| 電源の入れ方 | 23 |
| 電源の切り方 | 23 |
| タッチパネルの使用方法 | 23 |
| ワイヤレスリモコンのボタン操作 | 24 |
| 4 使用上の注意 | 26 |
| 5 異常時の処置 | 27 |
| 6 修理を依頼する前に | 28 |
| 現象による状態チェックと処置 | 28 |
| インジケーターによる状態チェックと処置 | 30 |
| 7 お手入れ | 31 |
| 外装のお手入れ | 31 |
| タッチパネルのお手入れ | 31 |

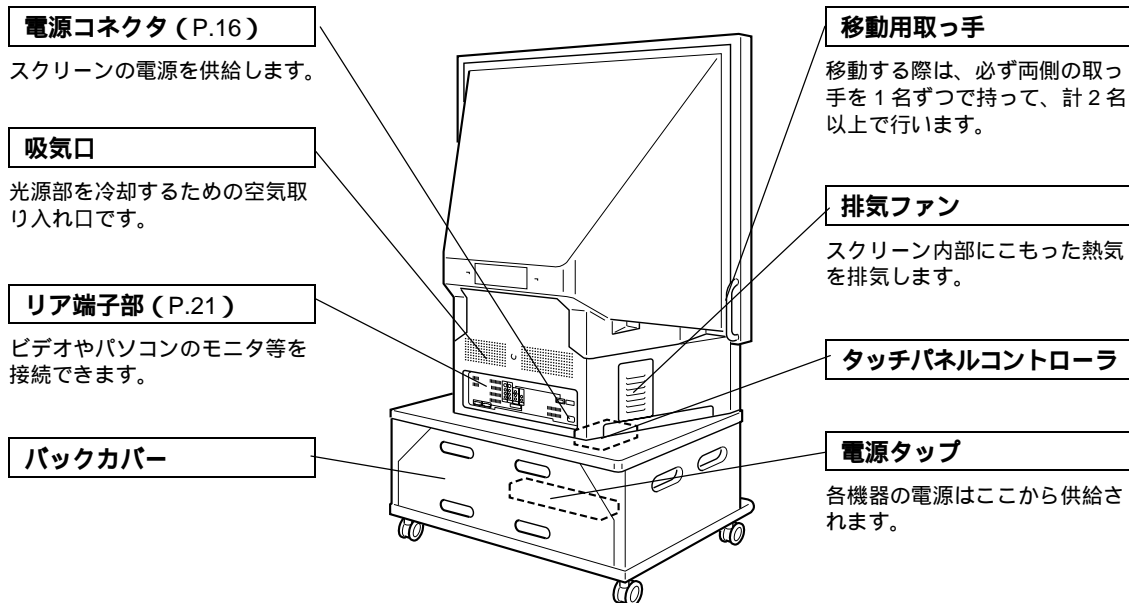
| | |
|----------------------------|----|
| 内部の掃除 | 31 |
| 光源ランプの交換..... | 32 |
| 8 アフターサービスについて..... | 33 |
| 9 仕様..... | 34 |
| 製品仕様..... | 34 |
| 外形寸法図 | 35 |
| 設置スペース..... | 35 |
| 10 メニューの使い方..... | 36 |
| メニュー階層図..... | 36 |
| 映像設定メニュー..... | 39 |
| 音声設定メニュー..... | 41 |
| 他の設定 | 42 |
| ランプ時間の表示説明 | 43 |
| RGB 設定 | 44 |
| 画面調節の詳細設定..... | 45 |
| 11 技術情報..... | 47 |
| 映像の調整のしかた..... | 47 |
| パソコン映像の調整のしかた | 48 |
| パソコンから本機の機能を制御する | 51 |
| タッチパネル制御ソフトウェアのインストール..... | 59 |
| 索引..... | 63 |

1 各部の名称とはたらき

本体正面



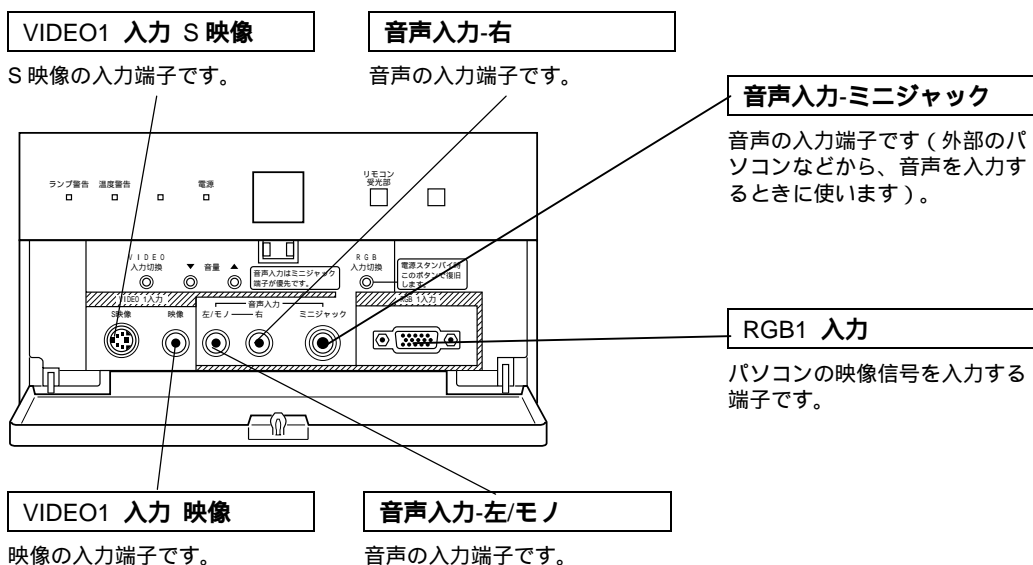
本体背面



本体端子部

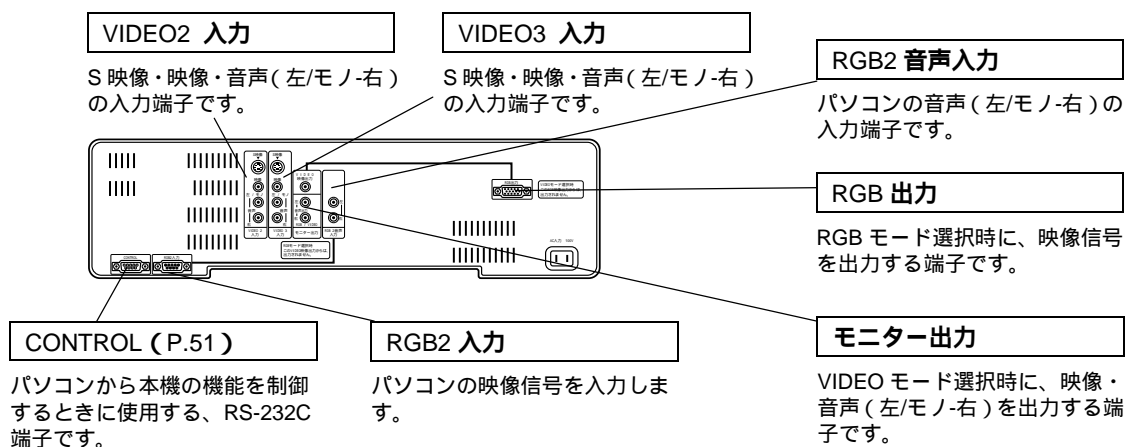
コントロールパネル

ビデオやパソコンのモニタの接続については、「コントロールパネルへの接続方法」(P.21)を参照してください。



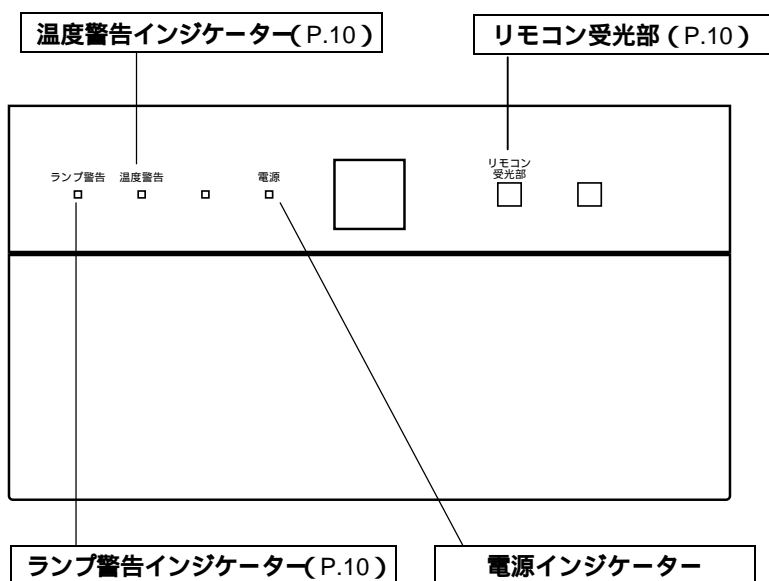
リア端子

パソコンの接続は「パソコンの接続方法」(P.19)を、ビデオやDVDの接続は「リア端子部への接続方法」(P.22)を参照してください。



インジケーター

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが3つあります。インジケーターの光り方によって、本機の状態や異常を知ることができます。本機の状態や異常に対する処置については、「6 修理を依頼する前に」の「インジケーターによる状態チェックと処置」(P.30)を参照してください。



電源インジケーター

主電源の入/切を知らせます。本機の主電源スイッチを入れると、数秒間緑に点滅した後、緑に点灯します。

また、ランプ警告インジケーターと温度警告インジケーターによって異常が知らされている場合、電源インジケーターも同様の光り方で異常を知らせます。

詳しくは、「6 修理を依頼する前に」の「インジケーターによる状態チェックと処置」(P.30)を参照してください。

ランプ警告インジケータ

ランプカバーおよびフィルターの取り付けが不良であったり、光源ランプの消耗や寿命などで点灯しないとき、ランプ警告インジケータが知らせます。

異常に対する処置については、「6 修理を依頼する前に」の「インジケータによる状態チェックと処置」(P.30)を参照してください。

また光源ランプは、点灯時間が約 3,000 時間を超えると輝度が半減して、スクリーンが暗く表示されます。このような場合、またはランプが切れた場合は、光源ランプを交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご連絡ください。

補 足

光源ランプの使用時間が約 3,000 時間を超えると、主電源スイッチを押すたびにスクリーン左下に数十秒間「ランプ」のメッセージが表示されます。メニューで英語表示を選択した場合は、「LAMP」が表示されます。

温度警告インジケータ

内部温度の異常、冷却ファンの停止を知らせます。通気環境が不良で内部温度が高くなると赤く点灯し、冷却ファンが停止すると赤く点滅します。異常に対する処置については、「6 修理を依頼する前に」の「インジケータによる状態チェックと処置」(P.30)を参照してください。

リモコン受光部

ワイヤレスリモコンの信号を受信します。ワイヤレスリモコンは、本機のリモコン受光部の正面から約 5 メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でご使用ください。

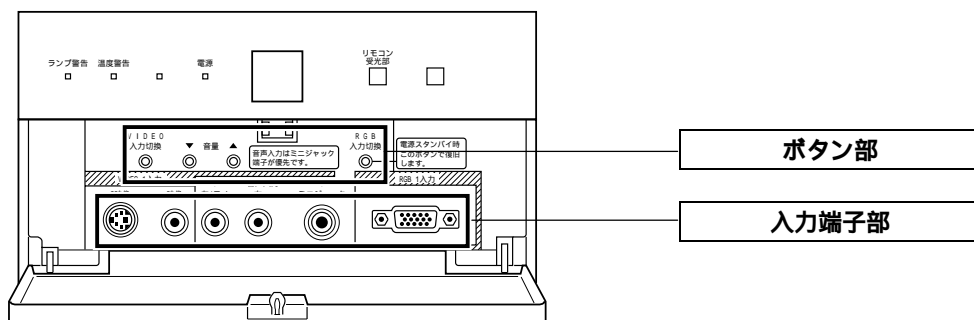
リモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がリモコン受光部に直接当たらないように、本機の向きを変えて設置してください。

リモコンの使用範囲については、「ワイヤレスリモコンの使用範囲」(P.24)を参照してください。

コントロールパネル

インジケータ部の下の扉を開けると、コントロールパネルが現れます。コントロールパネルには、音量調節と入力機器の切り替えボタン、そして外部機器の入力端子があります。お手元にワイヤレスリモコンがない場合でも、直接映像の切り替えや音量調節を操作することができます。

例えば、プレゼンテーションなどスクリーンの側において本機を操作しながら説明しているときなど、コントロールパネルを使用すると便利です。



ボタン部

VIDEO 入力切替ボタン

コントロールパネルの VIDEO1 入力、リア端子部の VIDEO2 入力または VIDEO3 入力のそれぞれの端子に接続されたビデオを切り替えて見るときに押します。

/ 音量ボタン

スピーカーからの音量を大きくしたり小さくしたりするときに押します。

ボタンは音量を小さくし、 ボタンは音量を大きくします。

RGB 入力切替ボタン

コントロールパネルの RGB1 入力、リア端子部の RGB2 入力のそれぞれの端子に接続されたパソコンのモニタを切り替えて見るときに押します。

また、何らかの異常が発生し、本機が正常に動作しなくなった場合、元の正常な状態に復旧するときにこのボタンを押します。

< 復旧のしかた >

本機に何らかの異常が発生した場合、ランプ警告インジケータまたは温度警告インジケータによりその状態を表示し、電源インジケータも同様に点灯または点滅しています。この状態で、その異常に対して処置を施した後に、RGB 入力切替ボタンを押します。異常に対する処置については、「6 修理を依頼する前に」の「インジケータによる状態チェックと処置」(P.30)を参照してください。

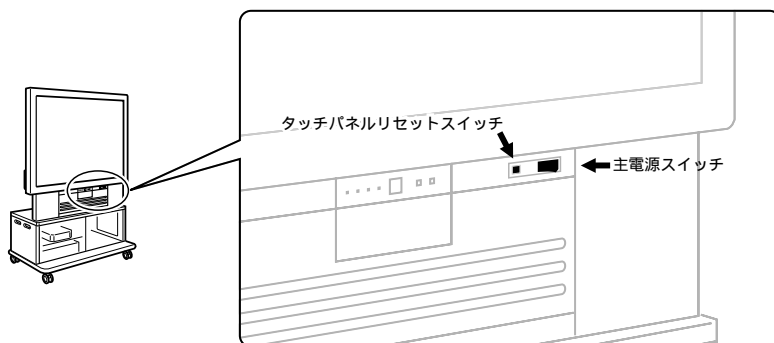
入力端子部

入力端子部にビデオやパソコンのモニタなどを接続する場合は、「他の機器の接続方法」の「コントロールパネルへの接続方法」(P.21)を参照してください。

- ・ VIDEO01 入力 S映像 S映像の入力端子です。
- ・ VIDEO01 入力 映像 映像の入力端子です。
- ・ 音声入力-左/モノ 音声の入力端子です。
- ・ 音声入力-右 音声の入力端子です。
- ・ 音声入力-ミニジャック 音声の入力端子です(外部のパソコンなどから、音声を入力するときに使用します)。
- ・ RGB1 入力 パソコンの映像信号を入力します。

主電源スイッチ

本機の電源スイッチです。主電源スイッチを入れると、本機に接続された他の機器（パソコンやビデオ、タッチパネルコントローラなど）の電源も連動します。



タッチパネルリセットスイッチ

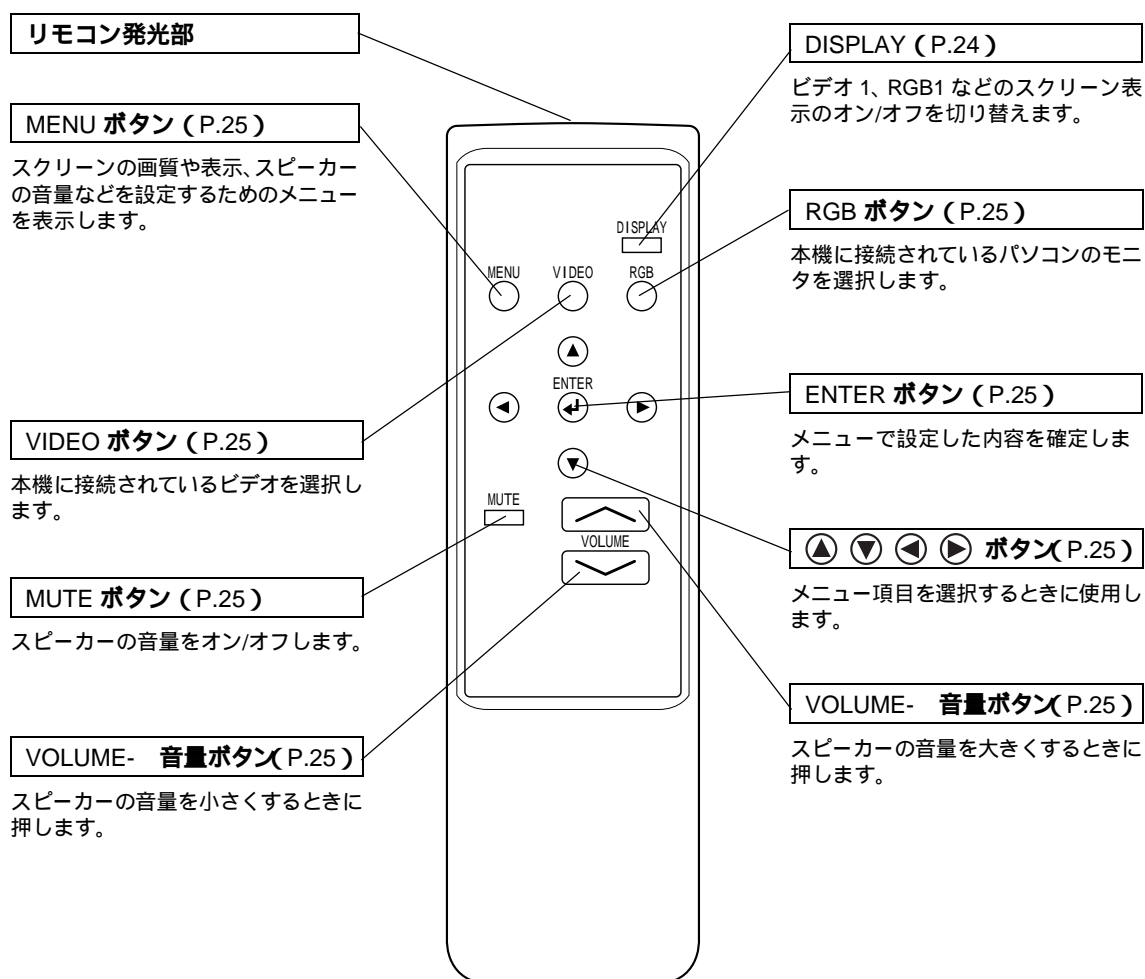
タッチパネル機能が正常に動作しない場合、正常な状態に戻すためのスイッチです。本機の使用時、内部のパソコン上で Ctrl+Alt+Del キーによる再起動を実行した際に、まれにスクリーンのタッチパネル機能が正常に動作しないことがあります。タッチパネル機能を正常な状態に戻すために、タッチパネルリセットスイッチを押してください。また、タッチパネルリセットスイッチを押しても、内部のパソコンに影響はありません。

ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコンのキー操作については、「ワイヤレスリモコンのボタン操作」の「ボタン操作」(P.24)を参照してください。

重要

ワイヤレスリモコンは、インジケータ部のリモコン受光部に向けて操作してください。



2 使用前の準備

本機の据付方法

開梱・設置

本機の質量（重量）は、約 120kg あります。お客様が開梱・設置を行うと倒れたりして、けがの原因となりますので、開梱・設置は最寄りの販売店へご依頼ください。

据付場所・運搬

本機の質量（重量）は、約 120kg あります。倒してけがの原因とならないよう、またスクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならないよう、次の警告と注意をよくお読みになり据付・運搬してください。

⚠警告

- ・ 傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
- ・ 本機の背面右側に排気ファンがあります。通風孔をふさがないように据付けてください。
- ・ 風通しの悪い狭い場所に置かないでください。

⚠注意

- ・ 運搬は 2 人以上で、必ず移動用取っ手を持ち、キャスターのロックを外してから運搬してください。
- ・ 据付位置が決まったら、キャスターは必ずロックしてください。
- ・ 湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- ・ 油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
- ・ 直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。

ワイヤレスリモコンの取り扱い

電池の入れ方

ワイヤレスリモコンに付属の単 3 形乾電池を 2 個入れます。



⚠注意

< 乾電池の使用上のご注意 >

- ・ 指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、プラス+とマイナス-の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

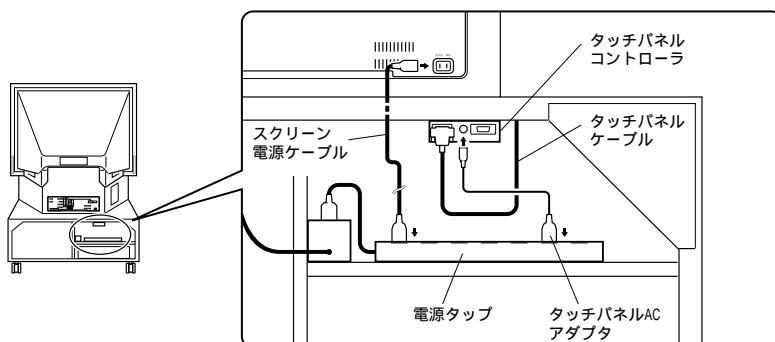
リモコン使用上のご注意

- ・ リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・ リモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ・ リモコンを長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- ・ 乾電池の寿命は約 1 年です（ご使用の状態によって電池の寿命は変わります）。
- ・ ワイヤレスリモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったりしたときは、2 個とも新しい乾電池に交換してください。
- ・ 本機のリモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がリモコン受光部に直接当たらないように、本機の向きを変えて設置してください。

電源の接続方法

本機の電源を接続する場合は、本体背面のバックカバーを外してから、作業を行います。

スクリーンの電源の接続



1. スクリーンの電源ケーブルを本機の電源タップと電源コネクタに接続します。
2. 付属のタッチパネル AC アダプタを、本機の電源タップとタッチパネルコントローラに接続します。タッチパネルコントローラは、本体背面から見て右下の「ビデオ・DVD 機器等の収納部」の上部に取り付けられています。

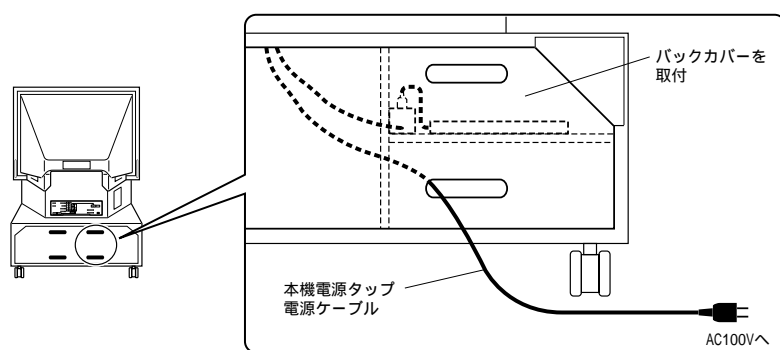
本機主電源の接続

⚠ 警告

表示された電源電圧以外で使用しないでください。

重要

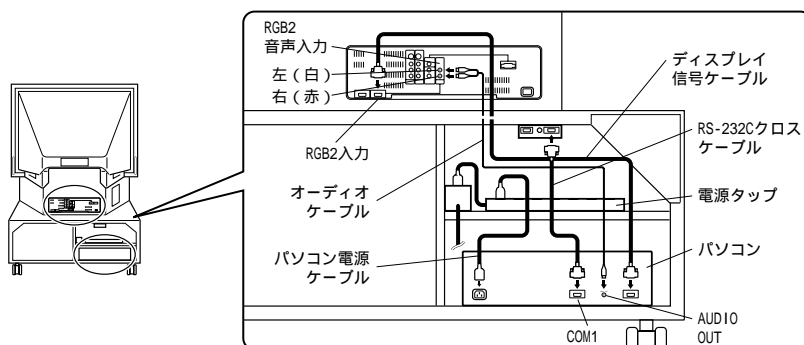
火災・感電の原因となります。電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。



1. 本機電源タップの電源ケーブルを、バックカバーの下部の穴から引き出せるようにして、バックカバーを本機に取り付けます。
2. 電源タップの電源プラグを AC100V 電源コンセントに差し込みます。

パソコンの接続方法

パソコンを接続する場合は、本体背面のバックカバーを外して作業を行います。



重要

パソコンを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。

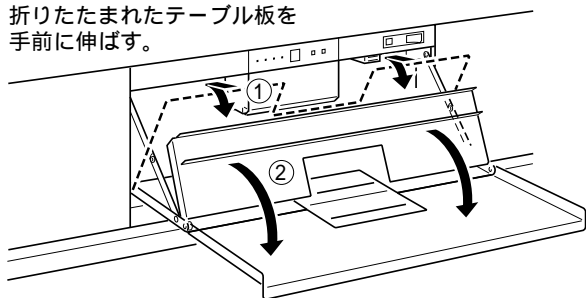
1. 本機の主電源スイッチを切り、電源タップの電源コードをコンセントから抜きます。
2. 本機のパソコン収納部にパソコンを設置します。
3. 付属のディスプレイ信号ケーブルの片側を、パソコンのディスプレイコネクタ（ミニ D-SUB メス 15 ピン）に接続し、もう片側をリア端子部の RGB2 入力に接続します。
4. 付属の RS-232C クロスケーブルをパソコンの COM1 に接続し、もう片側をタッチパネルコントローラの右側コネクタ（D-SUB オス 9 ピン）に接続します。
5. 付属のオーディオケーブルを、パソコンの“AUDIO OUT”と、本機のリア端子部の RGB2 音声入力に接続します。
6. パソコンの電源ケーブルを本機の電源タップに接続します（これにより本機の主電源に連動します）。

キーボードやスキャナーの設置

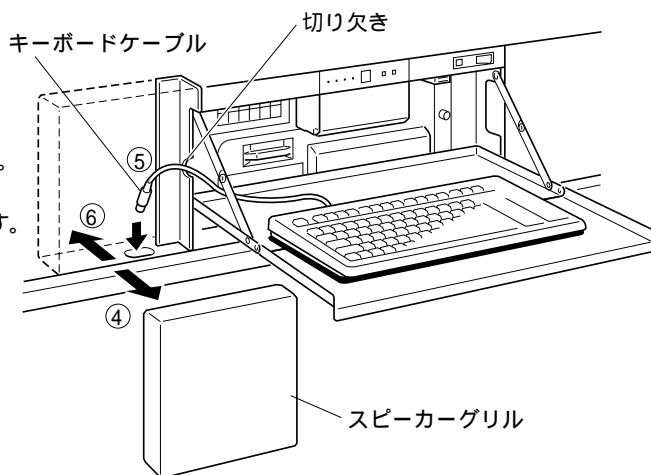
コントロールパネル部の下にあるカバー（テーブル）を開くと、キーボードやスキャナーなどを置くことができます。

以下の図の手順を参照して、キーボードやスキャナーなどのケーブルを、本機左側スピーカーの右下にある穴に入れます。ラックの扉を開けて、パソコンに接続します。

- ① テーブルを手前に倒す。
- ② 折りたたまれたテーブル板を手前に伸ばす。



- ③ テーブルにキーボードを設置します。
- ④ スピーカーグリルを取り外します。
- ⑤ 切り欠きにキーボードケーブルを通し、スピーカー下の穴に通します。
- ⑥ 最後にスピーカーグリルを取り付けます。



⚠注意

- ・ テーブルには 3kg 以上の機器や物を載せないでください。また、手や肘なども載せないでください。

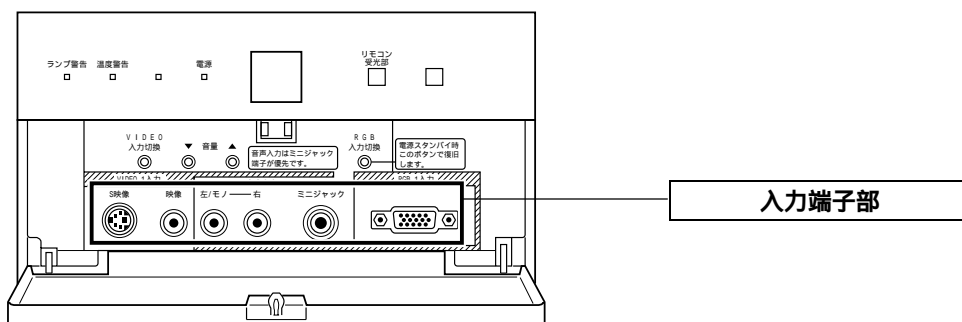
他の機器の接続方法

重要

- ・他のデバイスを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。
- ・電源タップに接続する機器は、総容量 1,500W 以下でお使いください。

コントロールパネルへの接続方法

コントロールパネルの入力端子に、ビデオやパソコンのモニタ等が接続できます。各入力端子の仕様は以下のとおりです。



- ・VIDEO1 入力 S映像 S映像入力端子です。
- ・VIDEO1 入力 映像 映像入力端子です。
- ・音声入力 左/モノ - 右 音声入力端子です。
- ・音声入力 ミニジャック 音声入力端子です (外部のパソコンなどから、音声を入力するときを使用します)。
- ・RGB1 入力 パソコンの映像信号を入力します。

補足

- ・VIDEO1 入力の映像端子と S 映像端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合、S 映像端子の信号が優先されます。また、S 映像端子はコントロールパネルとリア端子部にありますが、両方の端子に接続した場合は、コントロールパネルの信号が優先されます。
- ・ビデオ機器を映像端子でご利用になる場合、映像が乱れることがあります。ビデオ機器は S 映像端子でご利用になることをお勧めします。

3 使用方法

電源の入れ方

始めに、主電源スイッチで連動させる各機器のスイッチをオンにします。主電源スイッチを入れると、各機器が連動してオンになります。

主電源スイッチを入れた直後は、スクリーンが暗く見えます。これは、光源ランプのウォームアップのためで故障ではありません。

電源の切り方

接続された各機器の電源がオンの状態のまま、本機の主電源スイッチで電源を切ると、各機器の電源が連動し、オフになります。

⚠注意

- ・ Windows パソコンが接続されていて、Windows を起動している場合は、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから、主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。
- ・ 主電源スイッチを切った直後に電源を入れた場合、映像がスクリーンに表示されるのに 1 分間ほどかかる場合があります。

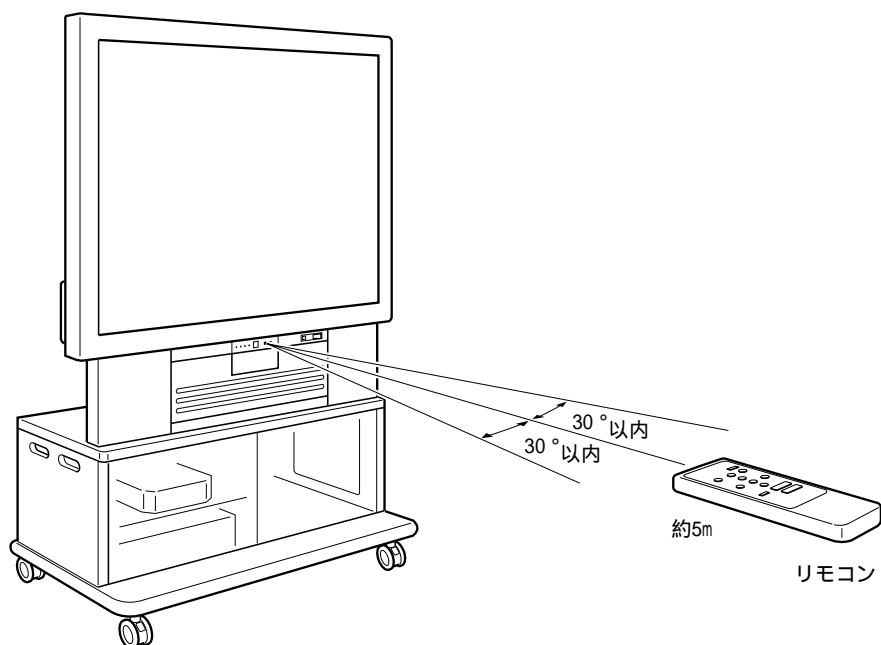
タッチパネルの使用方法

タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにします。指の側面は使用しないでください。押しても認識されないことがあります。また、指を当てる強弱によっては機能を実行できないこともあります。その場合は、もう少し指を強く押ししてみてください。

ワイヤレスリモコンのボタン操作

ワイヤレスリモコンの使用範囲

ワイヤレスリモコンの信号は本機のリモコン受光部で受信します。ワイヤレスリモコンは、本機のリモコン受光部の正面から約 5 メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でご使用ください。



ボタン操作

DISPLAY ボタン

ボタンを押す度に、スクリーン表示のオン/オフを切り替えることができます。この切り替えの内容は主電源をオフにする直前の状態が記憶され、次回主電源をオンにしたときその状態でスクリーンが表示されます。

ただし、スクリーン表示は、主電源をオンにしたとき、スクリーン表示のオン/オフの設定に関わりなく、最初の十数秒間表示されます。

MENU ボタン

スクリーンの画質や表示、スピーカーの音量などを設定するためのメニューを表示します。ボタンを押すと、メニューが表示されます。もう一度押すと消えます。メニューを表示中にこのボタンを押すと、メニューが消えます。

VIDEO ボタン

本機に接続されているビデオを選択します。ボタンを押す度に、ビデオの入力端子の表示が切り替わります。

主電源をオンにしたときは、常に RGB2 からの入力に設定されています。

RGB ボタン

本機に接続されているパソコンのモニタを選択します。ボタンを押す度に、モニタの入力端子の表示が切り替わります。

主電源をオンにしたときは、常に RGB2 からの入力に設定されています。

⊕ ボタン

メニューで設定した内容を確定します。

▲ ▼ ◀ ▶ ボタン

メニュー項目を選択するときに使用します。

MUTE ボタン

スピーカーからの出力をオン/オフに切り替えます。オンにすると音量を 0 にして（消音）、オフにすると音量は 0 にする前に戻ります。

次の操作をすると、消音の状態が解除されます。

- ・ 主電源がオンにされたとき
- ・ VOLUME-∧音量ボタンが押されたとき

ただし、消音中に VOLUME-∨音量ボタンが押された場合は、消音状態のまま音量を小さくすることができます。消音状態を解除すると、設定した音量が出力されます。

VOLUME-∧音量ボタン

スピーカーからの音量を大きくします。

消音状態のときにこのボタンを押すと、消音が解除され、設定した音量が出力されます。

VOLUME-∨音量ボタン

スピーカーからの音量を小さくします。

消音状態のときにこのボタンを押しても、消音は解除されません。しかし、消音状態のまま、音量を調整することができます。調整した音量は、消音を解除したときに出力されず。

4 使用上の注意

タッチパネルのガラスについて

ガラスは、強くたたくと割れたりしてけがの原因となることがあります。ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。

パソコンの電源について

Windows パソコンが接続されている場合、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

電源タップの電源容量について

電源タップに接続する機器は、総容量 1,500W 以下でお使いください。レーザープリンタ等大型の周辺機器を接続する場合は、機器の消費電力を確認してください。

キーボードテーブルの積載重量について

キーボードテーブルにキーボード以外の機器を載せる場合、その重量が 3kg 以内であることを確認してください。3kg 以上の機器や物を載せた場合、テーブルが破損する恐れがあります。

また、手や肘も載せないでください。

5 異常時の処置

⚠警告

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなど異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

6 修理を依頼する前に

修理を依頼される前に、お客様に調べていただきたい内容を以下にまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。故障状態のままご使用になると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

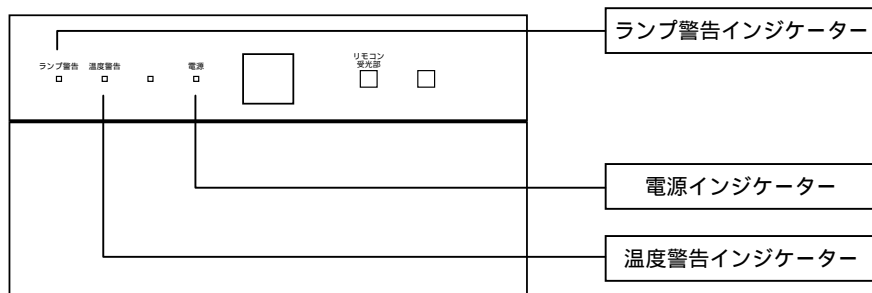
現象による状態チェックと処置

| このようなときは... | ここをお調べください | 処置 |
|-------------------|---|---|
| 画面に何も映らない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチは入っていますか？ b. 電源インジケーターが消えていますか？ c. 電源タップに、正常に電気が供給されていますか？ d. 電源タップの電源コードが正しく接続されていますか？ e. 電源ランプが消灯していませんか？ f. スクリーン電源ケーブルが正しく接続されていますか？ g. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルが正しく接続されていますか？ h. 接続されている機器が正しく作動していますか？ i. 適正な信号ケーブルが接続されていますか？ j. 接続されている入力信号を正しく選択していますか？ k. 周囲の温度が高すぎませんか？（温度警告インジケーターが赤く点灯していませんか？） l. 光源ランプが切れていませんか？（ランプ警告インジケーターが赤く点灯していませんか？） m. 電源を切ってからすぐに電源を入れましたか？（電源インジケーターが緑に点滅していますか？） | <ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチを入れてください。 b. 主電源スイッチを入れてください。 c. 別の機器で確認してください。 d. 電源コードを正しく接続してください。 e. 電源コードを正しく接続してください。主電源スイッチを入れてください。 f. スクリーンの電源コネクタに、スクリーン電源ケーブルを正しく接続してください。 g. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルを正しく接続してください。 h. 接続されている機器を正しく作動させてください。 i. 適正な信号ケーブルを接続してください。 j. 接続されている入力信号を選択してください。 k. 周囲温度を動作温度範囲内に設定し、30分以上本機を放置冷却した後、電源を入れなおしてください。 l. サービス実施店に依頼して、光源ランプを交換してください。 m. 故障ではありません。画像が映るまで約1分かかります。しばらくお待ちください。 |
| ワイヤレスリモコンが操作できない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 電池が正しくセットされていますか？ b. 電池が消耗していませんか？ c. 本機のインジケーター部にリモコン発光部を正しく向けていますか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 電池を正しくセットしてください。 b. 新しい電池と交換してください。 c. 本機のインジケーター部にリモコン発光部を正しく向けて操作してください。 |
| 映像が暗い！ | <ul style="list-style-type: none"> 明るさの調整が不足していませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> 映像設定メニューで明るさを調整してください。 |
| 映像がぼやける！ | <ul style="list-style-type: none"> 明るさ、画質の調整が不足していませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> 映像設定メニューで明るさ、画質を調整してください。 |

| このようなときは... | ここをお調べください | 処 置 |
|---------------------|---|--|
| 映像に赤、青、黄などの光る点が見える！ | 本機の方式特有のものです。故障ではありません。 | |
| 映像が乱れ、音声に雑音が入る！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 外部機器との接続ケーブルを端子に正しく接続されていますか？ b. 他の機器の近くに設置しているために他の機器からの妨害電波を受けていませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 接続プラグを端子の奥までしっかりと接続してください。 b. 本機を他の機器から離してください。 |
| 音声がでない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 音量の調整がされていますか？ b. ワイヤレスリモコンのミュートボタンを「オン」にしていますか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 音量を調整してください。 b. ワイヤレスリモコンのミュートボタンを「オフ」にしてください。 |
| 排気口から温風が出る！ | 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じるがありますが故障ではありません。 | |
| メニューで設定できない！ | 前ページの「ワイヤレスリモコンで操作できない！」を参照してください。 | |
| 映像がぼやけて残る！ | 同一の静止画像を長時間ご覧になられた場合、画面を切り換えてもまれに静止画像がぼやけて残ることがありますが、これは故障ではありません。画像残りは、数日間放置しておくとも自然に出なくなります。 | |
| タッチパネルで操作できない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. タッチパネルコントローラの AC アダプタが電源タップに正しく接続されていますか？ b. タッチパネルケーブルがタッチパネルコントローラの TP-I/F コネクタに正しく接続されていますか？ c. クリーナーなどでタッチパネルを手入れしたときに、その液体がたれてタッチパネルの下部に液が溜まっていませんか？ d. 内部のパソコン上で Ctrl+Alt+Del キーによる再起動をしましたか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. AC アダプタを正しく接続してください。 b. タッチパネルケーブルを TP-I/F コネクタに正しく接続してください。 c. タッチパネルの下部に溜まっている液体をきれいに拭き取ってください。 d. タッチパネルリセットスイッチを押してください。 |

インジケーターによる状態チェックと処置

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが3つあります。インジケーターの光り方によって、本機の異常を知ることができます。以下の表に、インジケーターの表示に対する、本機の状態と対処方法を説明します。



| | 表示 | 状態 | 処置 |
|------------------|-------------|--|---|
| ランプ警告 インジケーター | 赤点滅 | a. ランプカバーが外れている。 b. フィルターが正しく取り付けられていない。 | ランプカバーまたはフィルターを正しく取り付けてください。 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| | 赤点灯 | ランプが点灯していない。 | 光源ランプの消耗が近づいているか、光源ランプの寿命です。 光源ランプを交換してください。光源ランプの交換については、サービス実施店にご依頼ください。 |
| 温度警告 インジケーター | 赤点滅 | 冷却ファンに異物がはさまっているか、冷却ファンが故障していて、ファンが止まっている。 | 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| | 赤点灯 | 内部の温度が高くなっています。次の原因が考えられます。 a. 吸気口または排気口をふさいでいる。 b. 暖房の吹出し口などの高温な場所で使用している。 c. フィルターが汚れている。 | a. ふさいでいる物を取り除きます。 b. 設置場所を変更します。 c. 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| 電源 インジケーター | 赤点滅/ 赤点灯 | ランプ警告インジケーター、温度警告インジケーターで表示されている異常の状態と同様に、赤点滅または赤点灯で表示します。 | 表示されている異常の状態について、対処してください。 |
| | 緑点滅 | 正常です。光源ランプのウォームアップ状態です。 | |
| | 緑点灯 | 正常です。 | |

7 お手入れ

⚠注意

お手入れをする前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外装のお手入れ

- ・ 柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・ 汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってから、汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

タッチパネルのお手入れ

ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。汚れがひどい場合には、クレポリメイトクリア No.1249（呉工業株式会社製）の使用をお勧めします（クレポリメイトクリアは、全国の日用品・家庭用品店で入手できます）。塗布する際は、付属の布に液体を少量吹き付けて、清掃してください。液体を直接ガラスに吹き付けると、たれた液でタッチパネルの故障の原因になります。

⚠注意

- ・ タッチパネルはガラス製で、合わせガラスを採用しており割れにくく破片が飛び散りにくい構造ですが、ガラスが割れると、場合によってははげの原因となることがあります。
- ・ ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。

内部の掃除

- ・ タッチパネル付スクリーン内部の掃除は、サービス実施店にご依頼ください。
- ・ 掃除を行うと、機器本体の火災・故障を防ぎます。特に梅雨期の前に行うのが効果的です。
- ・ 内部掃除の費用については、サービス実施店におたずねください。

光源ランプの交換

本機には、スクリーンに映像を投影するために光源ランプが内蔵されています。通常のランプ同様に光源ランプも消耗します。本機的光源ランプは、平均約 3,000 時間使用すると消耗していきます（使用環境によってはこの時間は多少異なります）。

光源ランプが消耗すると、輝度の低下や色あいが不鮮明となり、性能低下の原因となります。

重 要

光源ランプの使用時間が約 3,000 時間を超えると、主電源スイッチを押すたびにスクリーン左下に数十秒間「ランプ」のメッセージが表示されます。メニューで英語表示を選択した場合は、「LAMP」が表示されます。

以上のような場合、新しい光源ランプとの交換が必要です。光源ランプの交換については、サービス実施店にご依頼ください。

8 アフターサービスについて

保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめください。保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無償保証期間は、納入日から1年間です。

操作方法や機器のトラブルのお問い合わせ、または消耗品などのご注文や、機器の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。

保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

9 仕様

製品仕様

| | | | |
|--------------------|--------------------|---|--|
| 商品名 | | MB2-50SS | |
| 表示装置 | 方式 | 液晶リアプロジェクト (AC 方式) | |
| | ディスプレイ大きさ | 121cm×95cm | |
| | 有効表示サイズ | W : 106.7cm±1cm H : 80cm±1cm | |
| | アスペクト比 | 4 : 3 | |
| | 表示画素数 | 800×600 ドット (SVGA) | |
| | 映像位置 | W1 - W2 12mm、 H1 - H2 10mm (各辺の中央にて) | |
| | 表示色数 | 1,677 万色 (8bit×3色) | |
| | 輝度 | 平均 350 カンデラ (最大 400 カンデラ以上) | |
| 視野角 | 水平 : 110° 垂直 : 50° | | |
| 映像 | 入力 | RGB 信号 | 2 系統 前部 : ミニ D-SUB 15P 後部 : ミニ D-SUB 15P |
| | | VIDEO 信号 | 3 系統 前部 : RCA ピンジャック、S ビデオ *注 1 後部 : RCA ピンジャック/S ビデオ (RCA と S ビデオ自動切換) 後部 : RCA ピンジャック/S ビデオ (RCA と S ビデオ自動切換) |
| | 出力 | RGB 信号 | 1 系統 後部 : ミニ D-SUB 15P |
| 音声 | 入力 | 4 系統 後部 RGB (パソコン音声用) : RCA ピンジャック (L, R) 前部 RGB/ビデオ音声 : RCA ピンジャック (L, R)、ステレオミニプラグ *注 2 後部ビデオ音声 : 2 系統、RCA ピンジャック (L, R) | |
| | 出力 | 1 系統 : 映像に連動した系統を出力 (パソコンまたはビデオ映像等) ラインアウト : ステレオミニプラグ 内部スピーカー 12W+12W | |
| RS-232C | | 1 系統 後部 : ミニ D-SUB 9P | |
| タッチ入力装置 | 方式 | 超音波表面弾性波タッチパネル方式 | |
| | Touch resolution | 1.59mm/ポイント (6.3 ポイント/cm) | |
| | 入力方法 | 指または付属ペン | |
| 同梱ソフトウェア | | タッチパネルドライバ for Win95/98 | |
| 全般 | 外形寸法 | W:121cm D:70.5cm H:181cm (キャスト付) *奥行きはキャストを含まず | |
| | 収納部寸法 (スタンド部) | 右段 (プリンタ収納部) W:53cm D:57cm H:41.5cm | |
| | | 左上段 (ビデオ・DVD 等収納部) W:49.5cm D:43.5cm H:18cm *注 3 | |
| | | 左下段 (PC 収納部) W:49.5cm D:57cm H:21cm | |
| | キーボードテーブル寸法 | W : 60cm D : 26cm | |
| | 温湿度条件 | 温度 0 ~ 40 湿度 20 ~ 80% (結露なきこと) | |
| | 電源電圧 | 100V (50/60Hz) | |
| 消費電力 | 約 180W | | |
| 質量 | 約 120kg | | |
| <主な添付品> (ソフトウェア除く) | | タッチパネル用ペン (1 本)、ワイヤレスリモコン、保証書、使用説明書 (ハードウェア編)、AC アダプタ (タッチパネルコントローラ用)、各種ケーブル (ディスプレイ信号ケーブル、RS-232C ケーブル、パソコン用オーディオケーブル、ディスプレイ用電源ケーブル : 各 1)、タッチペンホルダ、清掃用布、収納部棚板 (1 枚)、収納部棚板用フック (4 本)、収納部ドア (2 枚) | |

注 1) 映像入力の VIDEO 信号で、前部と後部にある S ビデオは同一系統です。

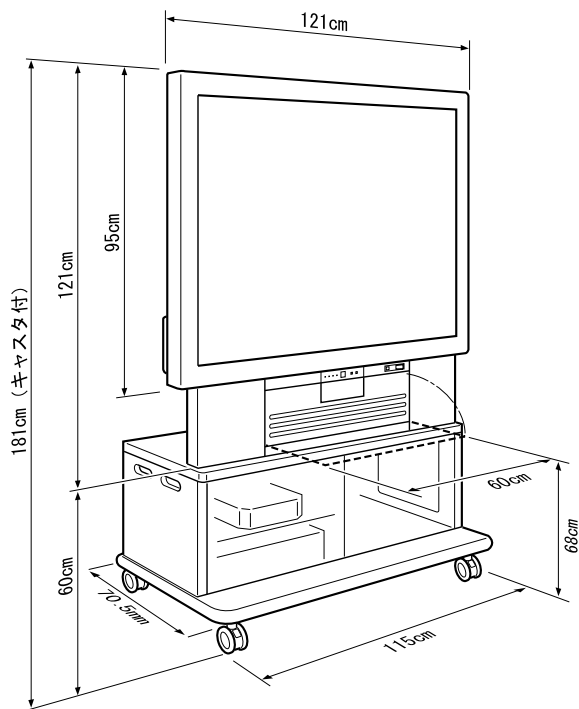
注 2) 前後音声入力は、ステレオミニプラグ端子が優先します。

注 3) ビデオ・DVD 等収納部の棚板 (底板) は、取り外しできます。

上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

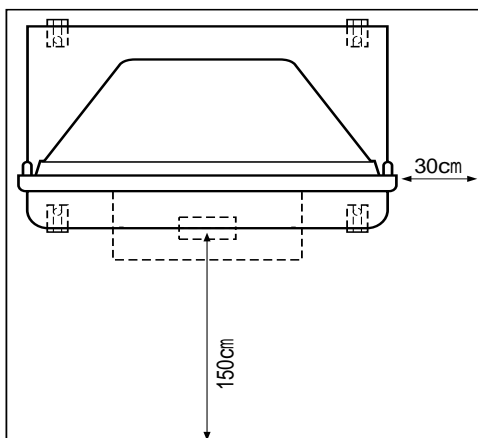
*この仕様表に掲載されている商品名、会社名は各社の商標及び登録商標です。

外形寸法図



設置スペース

本機を設置する際、プリンタを使用する場合は右側に十分なスペースを設けてください。プリンタ使用中に、用紙を取り出すときなどのために、このスペースが必要です。

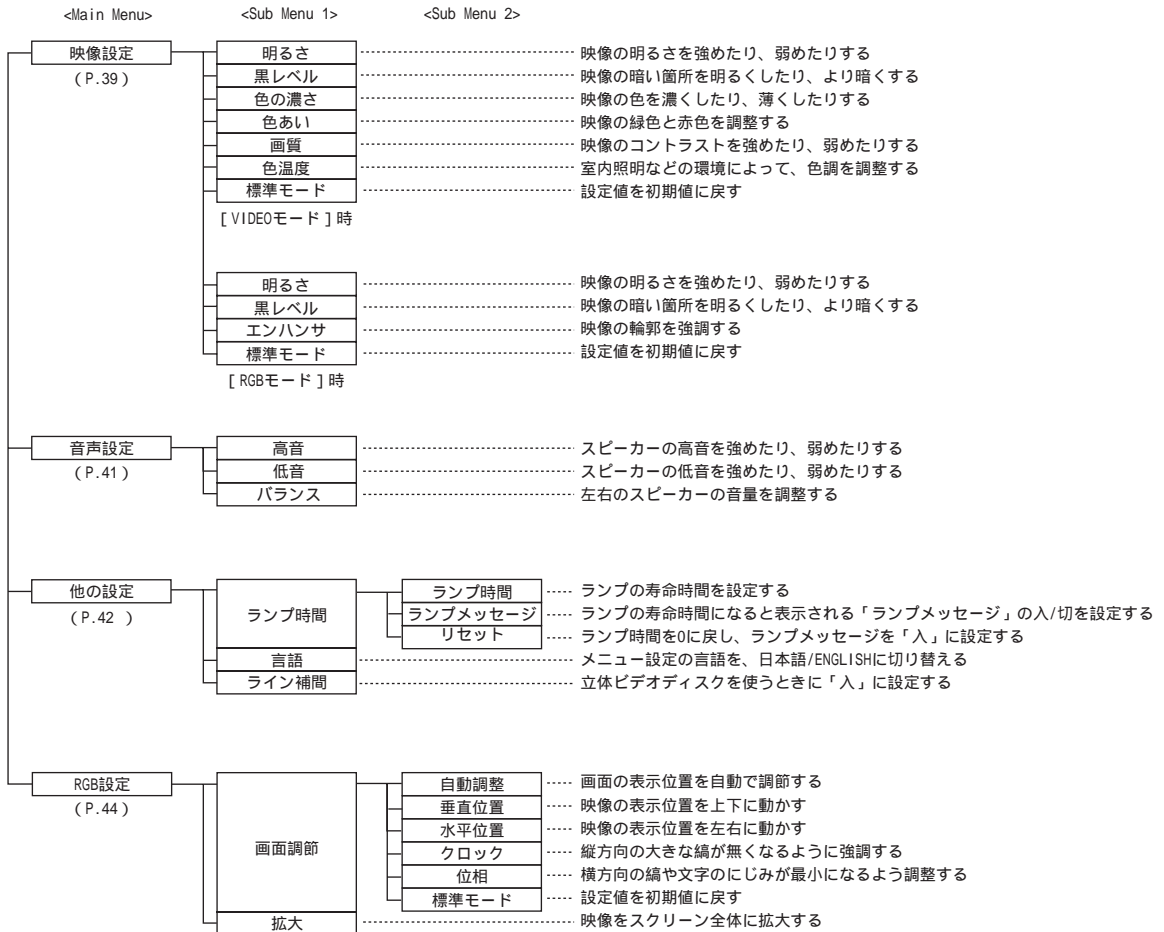


10 メニューの使い方

ここでは、画質やスピーカーの音量など本機を調整するためのメニューについて説明します。

メニュー階層図

メニューは、次の階層で構成されています。

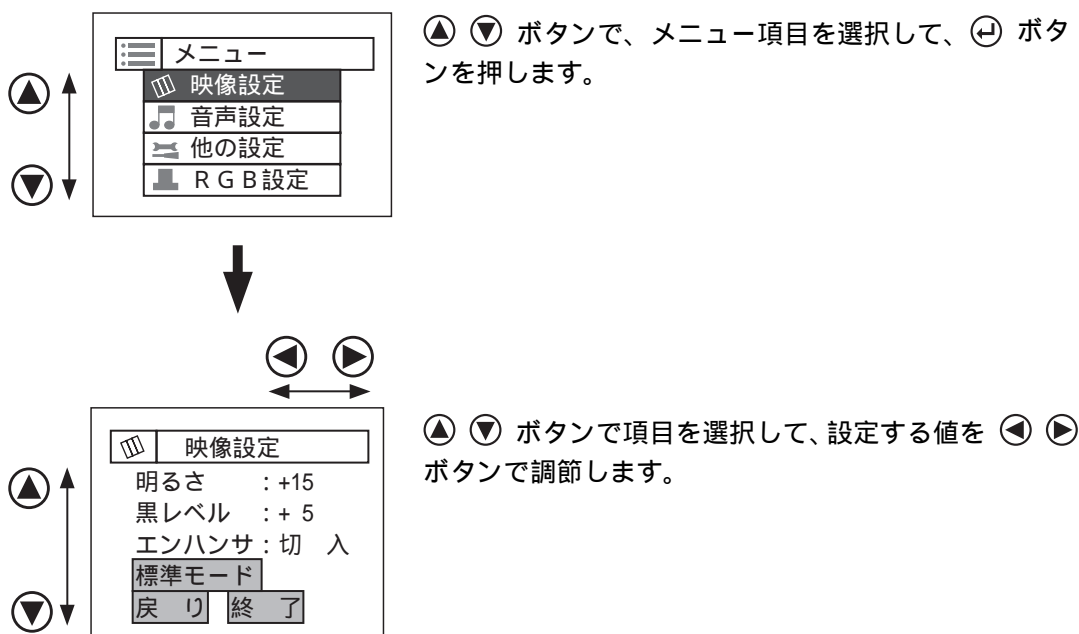


メニューの基本操作

メニューはワイヤレスリモコンで操作します。ワイヤレスリモコンのリモコン発光部をインジケータ部に向けて操作します。

| | |
|----------|--------------------------------|
| MENU ボタン | メニューを表示させます。 |
| ▲ ▼ ボタン | メニュー内の項目を選択するときに使用します。 |
| ◀ ▶ ボタン | 選択したメニューの項目の設定値を、変更するときに使用します。 |
| ⏏ ボタン | メニューで設定した内容を確定するときに使用します。 |

以下の図は、ワイヤレスリモコンのボタンによるメニューを選択する基本操作を示しています。



メニューの設定のしかた

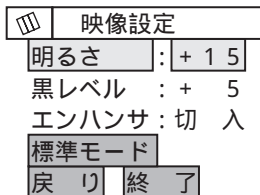
以下の操作を例に、メニューの設定のしかたを説明します。

例) 明るさを調整するとき

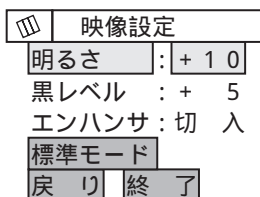
1. MENU ボタンを押します。
メニューが表示されます。



2. ワイヤレスリモコンの ▲ ▼ ボタンを押して、[映像設定] を選択し、⏪ ボタンを押します。
映像設定メニューが表示されます。



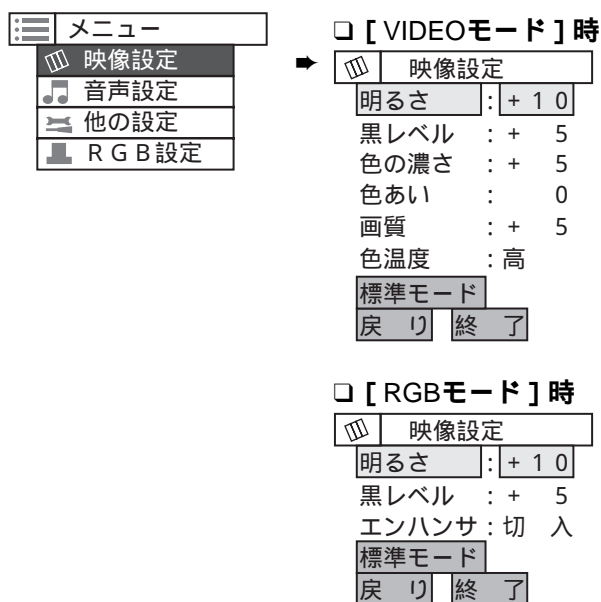
3. ▲ ▼ ボタンを押して、[明るさ] を選択します。
4. ◀ ▶ ボタンを押して、明るさを調整します。
ボタンを押す度に、スクリーンの明るさが変わります。



5. [終了] を選択して、⏪ ボタンを押します。
調節した明るさでスクリーンが表示されます。

映像設定メニュー

映像設定メニューでは、スクリーンの明るさや黒レベルなどを調整します。映像設定メニューは、メニューを表示したときの入力モードによって設定できる内容が異なります。映像の調整の詳しい操作方法は、「11. 技術情報」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.48)を参照してください。



明るさ (VIDEO モードと RGB モードで調整可能)

映像の明るさを調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと明るくなり、**◀** ボタンを押すと暗くなります。

ただし、入力信号によっては、明るさを + 方向 (明るくなる) に調整しても、明るく白い部分の明暗の差が変化しないことがあります。この場合は、- 方向 (暗くなる) に調整してください。



黒レベル (VIDEO モードと RGB モードで調整可能)

映像の暗い部分を調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと暗い部分が明るめに、**◀** ボタンを押すと暗い部分がより暗くなります。



色の濃さ (VIDEO モードで調整可能)

映像の濃さを調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと色が濃くなり、**◀** ボタンを押すと淡くなります。



色あい (VIDEO モードで調整可能)

映像の色あいを調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと色が緑がかり、 ボタンを押すと赤みを帯びます。

画質 (VIDEO モードで調整可能)



映像のコントラストを調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すとくっきりとした画質に、 ボタンを押すとやわらかな画質になります。

色温度 (VIDEO モードで調整可能)

室内照明などによる影響から色調を補正するときには、ワイヤレスリモコンの   ボタンで [高]、[低] のいずれかを選びます。

入力モード (VIDEO モード/RGB モード) に応じて色温度を自動で切り替えるには、[オート] を選択します。

エンハンサ (RGB モードで設定可能)

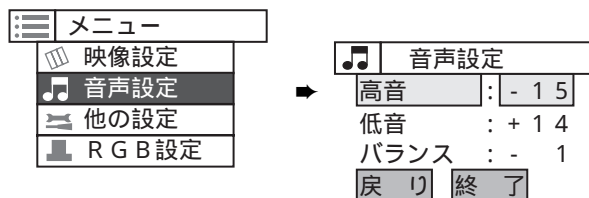
映像の輪郭を強調する機能をオン/オフにします。ワイヤレスリモコンの   ボタンで [切]、[入] のいずれかを選びます。

標準モード (VIDEO モードと RGB モードで設定可能)

設定内容を初期設定に戻す方法については、「11. 技術情報」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.57)を参照してください。

音声設定メニュー

本機のスピーカーから出力される音声を調整します。



高音

スピーカーから出力される音声の高音を調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと高音が強調され、**◀** ボタンを押すと高音がおさえられます。

低音

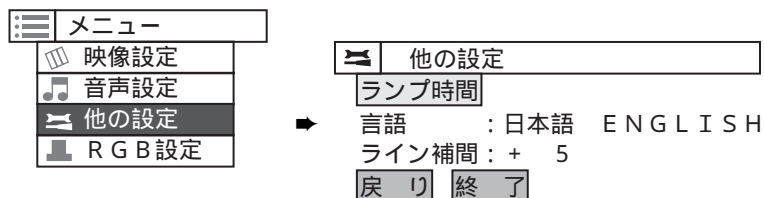
スピーカーから出力される音声の低音を調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと低音が強調され、**◀** ボタンを押すと低音がおさえられます。

バランス

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと右スピーカーの音量が強調され、**◀** ボタンを押すと左スピーカーが強調されます。

他の設定

ランプの使用時間を確認したり、メニュー表示時の言語を切り替えたりします。



ランプ時間

詳細は「ランプ時間の表示説明」(P.43)を参照してください。

言語

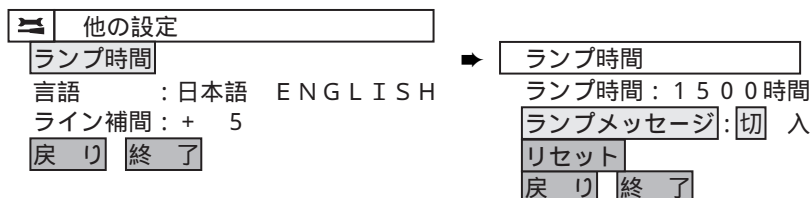
メニュー表示時の言語を、ワイヤレスリモコンの ◀ ▶ ボタンで[日本語]と[ENGLISH]を切り替えます。

ライン補間

立体ビデオディスクをお使いの場合に「入」に設定します。
通常は、「切」に設定しておきます。「入」に設定していても、電源を再投入すると「切」に設定されます。

ランプ時間の表示説明

現在使用しているランプの総合使用時間の確認や、ランプメッセージの入/切を行います。



ランプ時間

現在使用しているランプの総合使用時間を確認することができます。ランプ時間は、ランプの交換時期の目安になります。

補足

光源ランプは、平均で約 3,000 時間経過すると輝度が低下したり、色あいが悪くなるなど、光源ランプが消耗し始めます。

ランプメッセージ

ランプの交換時期になると、主電源をオンにする度に約十数秒間「ランプ」メッセージがスクリーン左下に表示されます。

△注意

- ・工場出荷時設定を変更しないでください。ランプメッセージを切ってしまうと、交換時期を知らせるメッセージが画面に表示されなくなります。

リセット

新しくランプを交換したときに設定します。ランプ時間が「0」に戻り、ランプメッセージの設定が「入」になります。ランプの交換は、サービス実施店が行います。

△注意

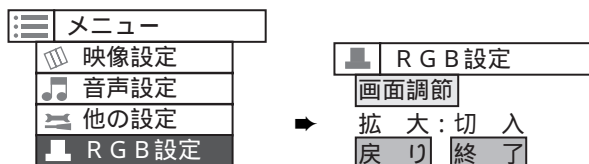
- ・リセットの操作は、絶対に行わないでください。ランプ時間をリセットすると、ランプを交換する時期が不明になります。

RGB 設定

主にパソコン画面を表示するときの、画面調整を行います。

補 足

[RGB 設定] での設定は、VIDEO モード時には反映されません。VIDEO モード時の映像設定については、「映像設定メニュー」(P.39)を参照してください。



画面調節

画面表示の詳細な設定を行います。詳しくは「画面調節の詳細設定」(P.45)を参照してください。

拡大

映像をスクリーン枠一杯に拡大して表示するか、通常表示サイズにするかを設定します。

「切」を選ぶと通常表示サイズ、「入」を選ぶと拡大表示にします。

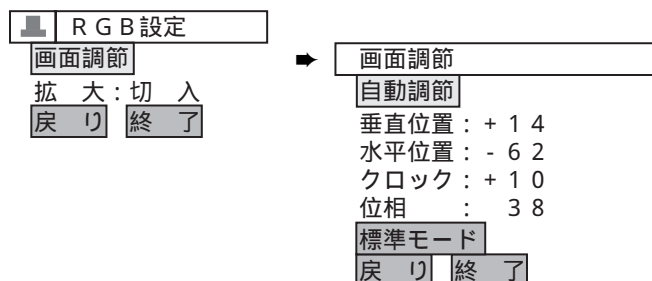
ワイヤレスリモコンの ◀ ▶ ボタンで [切]、[入] のいずれかを選びます。

入力信号によっては、それぞれの表示状態で、映像の水平位置がずれることがあります。この場合は、[画面調節] メニューの [水平位置] を調節します。詳しくは「画面調節の詳細設定」の「水平位置」(P.45)を参照してください。

画面調節の詳細設定

垂直位置や水平位置など、画面表示の詳細な設定を行います。

本機を初めてお使いの方は、最適な映像を表示させるために、必ず [自動調節] を行ってください。



自動調節

本機を初めてご使用になる方、現在ご使用のシステムを変更された方は、必ず自動調整を行ってください。自動調整を実行すると、以下の垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動調整し、最適な映像が表示されます。自動調整中は、「自動調整中」のメッセージがメニューの下に表示されます。

また、自動調整中はメニューの操作は受け付けません。

[自動調節を行うときの注意]

- ・ 自動調整は、電源を投入して 20 分以上経過してから行ってください。
- ・ 自動調整を行うときは、スクリーン全体にできるだけ明るい絵柄の映像を表示してください。
- ・ 入力信号によっては、自動調整を行っても最適な映像が得られない場合があります。もう一度自動調整を行うか、手でメニューの各項目を調整してください。
- ・ 自動調整中は映像が乱れますが、故障ではありません。

垂直位置

画面の垂直位置を調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと画面が上へ、**◀** ボタンを押すと下へ移動します。

水平位置

画面の水平位置を調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと画面が右へ、**◀** ボタンを押すと左へ移動します。

クロック

映像の縦方向の大きな縞が無くなるように調整します。

位相

映像の横方向の縞や文字の滲みが最小になるように調整します。

位相の調節は、細かい水玉模様や文字を表示して行くと、最良の状態を見つけやすくなります。

標準モード

工場出荷時設定に戻ります。

設定内容を初期設定に戻す方法については、「11. 技術情報」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.57)を、参照してください。

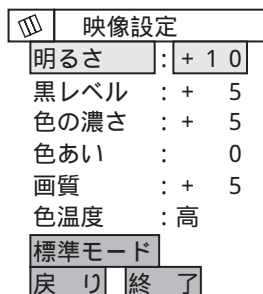
映像の調整のしかた

例) 映像の明るさを調整するとき

1. MENU ボタンを押して、メニュー設定を表示します。



2. ワイヤレスリモコンの ▲ ▼ ボタンを押して、[映像設定] を選びます。
3. ワイヤレスリモコンの ⏪ ボタンを押して映像設定メニューを表示します。



4. ワイヤレスリモコンの ▲ ▼ ボタンを押して、[明るさ] を選びます。
5. ワイヤレスリモコンの ⏪ ⏩ ボタンを押して、映像の明るさを調整します。⏩ ボタンを押すたびに映像が明るくなり、⏪ ボタンを押すたびに映像が暗くなります。
6. ワイヤレスリモコンの ▲ ▼ ボタンで「終了」を選び、⏪ ボタンを押します。調節した明るさでスクリーンが表示されます。

パソコン映像の調整のしかた

本機では、接続されたパソコンから映像を表示させるとき、その映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定され、映像が正しく表示するよう調整されます。しかし、お使いのパソコンの種類によっては、正しく表示されないことがあります。その場合は、メニューを使用して表示される映像を調整することができます。

特に初めて本機をご使用になる方、また今までのシステムを変更して本機をお使いになる方は、最適な映像を表示させるために「自動調節」機能を実行してください。

ここでは、簡単に映像を調整する「自動調節」方法、自動調節を実行しても映像が正しく表示されないときの微調整方法を紹介します。

簡単な映像の調整のしかた

RGB 設定メニューの [画面調節] で、[自動調節] を選択します。

自動調節を実行すると、垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動調整し、最適な映像が表示されます。自動調整中は、「自動調整中」のメッセージがメニューの下に表示されます。

また、自動調整中はメニューの操作は受け付けません。

[自動調節を行うときの注意]

- ・ 自動調整は、電源を投入して 20 分以上経過してから行ってください。
- ・ 自動調整を行うときは、スクリーン全体にできるだけ明るい絵柄の映像を表示してください。
- ・ 入力信号によっては、自動調整を行っても最適な映像が得られない場合があります。もう一度自動調整を行うか、手動でメニューの各項目を調整してください。
- ・ 自動調整中は映像が乱れますが、故障ではありません。

微調整のしかた

ここでは、自動調節を実行しても映像が正しく表示されない場合の、各症状に応じた映像の調整方法を紹介します。

RGB 設定メニューの [画面調節] を選択します。

症状 画面が左右にずれる

調整 画面調節のメニューで [水平位置] を選択し、画面の水平位置を調整します。ワイヤレスリモコンの ◀ ボタンを押すと画面が右へ、▶ ボタンを押すと画面が左へ移動します。

症状 画面が上下にずれる

調整 画面調節のメニューで [垂直位置] を選択し、画面の垂直位置を調整します。ワイヤレスリモコンの ▶ ボタンを押すと画面が上へ、◀ ボタンを押すと画面が下へ移動します。

症状 画面がちらつく、またはぼける

調整 画面調節のメニューで [位相] を選択し、画面のちらつきやぼけを調整します。ワイヤレスリモコンの ◀、▶ ボタンを押して、画面が最も鮮明に見えるようにします。

症状 幅広のしま模様が出る

調整 画面調節のメニューで [クロック] を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの ◀、▶ ボタンを押して、幅広の縞模様が消えるようにします。

症状 画面が白く（または黒く）つぶれる

調整 映像設定のメニューで [明るさ] または [黒レベル] を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの ◀、▶ ボタンを押して、白つぶれまたは黒つぶれが消えるようにします。

標準の設定に戻す

画面調節のメニューで [標準モード] を選択します。

工場出荷時の設定に戻ります。

登録されている信号形式

| NO | 入力信号名 | | | 周波数 | | | | | 備考 |
|----|---------|-----------------|----------|---------|---------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | Dck周波数 | H周波数 | V周波数 | H.Syn | V.Sy | |
| | | | | [MHz] | [kHz] | [Hz] | c | mc | |
| 1 | | PC-98 | 640×400 | 21.05 | 24.82 | 56.42 | N | N | 拡大/リアル |
| 2 | | PC-98 | 640×400 | 25.18 | 31.48 | 70.10 | N | P | 拡大/リアル |
| 3 | VGA | DOS/V,MAC,PC-98 | 640×480 | 25.18 | 31.48 | 59.95 | N | N | 拡大/リアル |
| 4 | 13"Mode | MAC | 640×480 | 30.24 | 35.00 | 66.67 | N | N | 拡大/リアル |
| 5 | VGA | DOS/V (VESA) | 640×480 | 31.50 | 37.86 | 72.81 | N | N | 拡大/リアル |
| 6 | VGA | VESA | 640×480 | 31.50 | 37.50 | 75.00 | N | N | 拡大/リアル |
| 7 | VGA | VESA | 640×480 | 36.00 | 43.27 | 85.01 | N | N | 拡大/リアル |
| 8 | SVGA | VESA | 800×600 | 36.00 | 35.16 | 56.25 | P | P | リアル |
| 9 | SVGA | VESA | 800×600 | 40.00 | 37.88 | 60.32 | P | P | リアル |
| 10 | SVGA | VESA | 800×600 | 50.00 | 48.08 | 72.19 | P | P | リアル |
| 11 | SVGA | VESA | 800×600 | 49.50 | 46.88 | 75.00 | P | P | リアル |
| 12 | SVGA | VESA | 800×600 | 56.25 | 53.67 | 85.06 | N | N | リアル |
| 13 | 16"Mode | MAC | 832×624 | 57.28 | 49.72 | 74.55 | P | P | 縮小 |
| 14 | XGA | VESA | 1024×768 | 44.90 | 35.52 | 43.48 | P | P | 縮小、インタレース |
| 15 | XGA | VESA | 1024×768 | 65.00 | 48.36 | 60.00 | N | N | 縮小 |
| 16 | XGA | VESA | 1024×768 | 75.00 | 56.48 | 70.07 | N | N | 縮小 |
| 17 | XGA | VESA | 1024×768 | 78.75 | 60.02 | 75.03 | P | P | 縮小 |
| 18 | 19"Mode | MAC | 1024×768 | 80.00 | 60.24 | 74.93 | N | N | 縮小 |
| 19 | XGA | VESA | 1024×768 | 94.50 | 68.68 | 85.00 | P | P | 縮小 |

- ・「信号表示」は信号設定メニューの設定選択欄中表示されます。
- ・お使いのパソコンの機種によっては、表示できないことがあります。
- ・本機の最大解像度は800×600ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度が得られません。
- ・SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑がかったり、画面が少し揺れることがあります。
- ・表に載っていない解像度と周波数の表示形式を持つコンピュータでも、表に載っている解像度と周波数に変更できる場合もあります。

パソコンから本機の機能を制御する

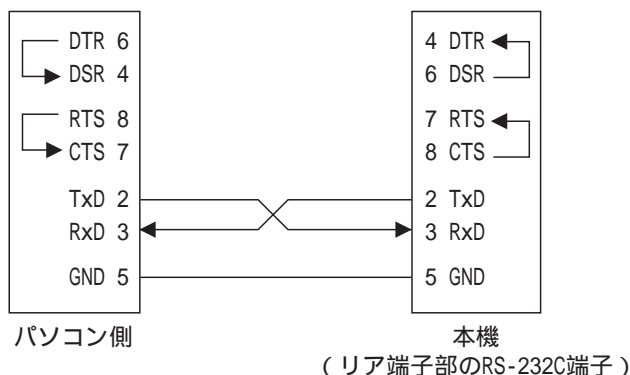
パソコンから本機の機能を制御する場合、本機のリア端子部の RS-232C 端子とパソコンの RS-232C 端子を RS-232C クロスケーブルで接続します。

パソコンで制御できる機能

- ・ 電源のオン/オフ
- ・ 異常の有無
- ・ 入力信号の切り替え
- ・ 画面表示のオン/オフ
- ・ ボリュームの調整
- ・ ミュートのオン/オフ

インターフェース

| | |
|---------|--------------|
| プロトコル | RS-232C |
| ボーレート | 9600 [bps] |
| データ長 | 7 [bits] |
| パリティ | 無し |
| ストップビット | 1 [bits] |
| フロー制御 | 無し |



制御コマンド構成

制御コマンドは、ファンクションコードとデータコードで構成されており、ファンクションコードは2バイト、データコードは0~2バイトです。

ファンクションコードの第1バイトのビット6~4は「コマンドの種類」を示し、ビット3~0は「データコードの長さ」を示します。

ファンクションコードの第2バイトは、「コマンドの内容」を示します。

データコードは、ファンクションコードに続く「データ情報」を示し、コマンドの種類およびコマンドの内容により本コードの有無（情報の有無）が変わります。データコードがある場合は、ファンクションコードの第1バイトのビット3~0でそのバイト長が指定されています。

| ファンクションコード | | データコード | |
|-------------------|--|-----------------------|--|
| 第1バイト | | 第2バイト | |
| ビット6~4 コマンドの種類 | | ビット6~0 コマンドの内容 | |
| ビット3~0 データコード長 | | 0~2バイトのデータ (データ情報) | |

コマンドの種類（第1バイトのビット6~4）は、「コマンドの内容」の手順や方向を示し、次のものがあります。

- 4h (100) デフォルト設定コマンド (パソコン 本機)
- 3h (011) 設定コマンド (パソコン 本機)
- 2h (010) 質問コマンド (パソコン 本機)
- 1h (001) 回答コマンド (本機 パソコン)
- 0h (000) エラーコマンド (本機 パソコン)
- 7h (111) フレームエラーコマンド (本機 パソコン)

コマンドの内容（第2バイト）は、ファンクション（機能）を示し、次のものがあります。

- 03h コマンドセットバージョン
- 11h 電源 (POWER)
- 21h 入力信号 (INPUT)
- 25h 画面表示 (DISPLAY)
- 23h ボリューム (VOLUME)
- 24h ミュート (MUTE)

制御シーケンス

本機は、電源の投入後、受信モードとなります。パソコンから本機への制御コマンド（デフォルト設定コマンド/質問コマンド/設定コマンド）の送信に対して、本機は制御コマンド（回答コマンド/エラーコマンド/フレームエラーコマンド）の送信で応答します。本機が制御コマンドを送信している間は、受信を受付けません（半二重）。

コマンド送受信時の詳細手順

- a. パソコンから本機へ制御コマンドの送信後、および本機からパソコンへ制御コマンドの送信後には、40ms 以上の時間をあけてください。
- b. パソコンから本機へ制御コマンドを送信する場合、制御コマンドを構成するバイト間は、500ms 以内にしてください。
- c. パソコンから本機へコマンドを送信すると、ファンクションコードの第1バイトのデータコード長とコマンドごとに必要なデータ長がチェックされます。500ms 以内に所定の長さのデータコードを受信できない場合（所定の長さに対して不足した場合）に、本機は、パソコンに制御コマンドのフレームエラーコマンドで応答します。所定の長さより多くデータコードが受信された場合には、本機はそのデータコードを無視します。
- d. 本機がフレームエラーコマンドで応答した場合、パソコンから何らかの制御コマンドの送信があるまで1秒間隔で10回までのフレームエラーコマンドを送信します。
- e. 本機が未定義のファンクションコードないしデータコードを受信した場合には、制御コマンドのエラーコマンドで応答します。
- f. メニュー表示中にパソコンから本機へ制御コマンドが送信された場合、メニュー表示をオフにして実行されます。また通信中は、リモコンと前面キーの入力は無効となります。

操作に関する機能

操作に関する機能は、本機の基本操作の設定を行います。本機が次の制御コマンドを正しく認識すると、該当する動作を行い、回答コマンドで応答します。

| ファンクション | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|--------------|------------|--------|-----------|
| POWER ON | 31h 11h | 7Fh | 電源のオン/オフ |
| POWER OFF | 31h 11h | 7Eh | |
| INPUT RGB1 | 31h 21h | 04h | 入力信号の切り替え |
| INPUT RGB2 | 31h 21h | 05h | |
| INPUT VIDEO1 | 31h 21h | 01h | |
| INPUT VIDEO2 | 31h 21h | 02h | |
| INPUT VIDEO3 | 31h 21h | 03h | |

回答コマンドのデータコード（操作の結果）は、「回答コマンド」（P.57）を参照してください。

画面・音声調整の操作に関する機能

画面・音声調整コマンドは、本機の画面や音声の調整を行います。本機が、次の制御コマンドを正しく認識すると、該当する動作を行い、回答コマンドで応答します。

| ファンクション | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|-------------|------------|--------|--|
| DISPLAY ON | 31h 25h | 00h | 画面表示のオン/オフ |
| DISPLAY OFF | 31h 25h | 01h | |
| VOLUME n | 31h 23h | xxh | ボリュームの設定 n は 0d ~ 63d、xxh は 00h ~ 3Fh |
| MUTE ON | 31h 24h | 00h | ミュートのオン/オフ |
| MUTE OFF | 31h 24h | 01h | |

回答コマンドのデータコード（操作の結果）は、「回答コマンド」（P.57）を参照してください。

デフォルト設定コマンド

デフォルト設定コマンドは、本機の状態をデフォルト（出荷時設定）に戻します。本コマンドにデータコードはありません。本機がデフォルト設定コマンドを正しく認識すると、該当する動作を行い、回答コマンドで応答します。

| ファンクション | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|---------|------------|--------|-------------|
| POWER | 40h 11h | なし | 電源の状態を戻す |
| INPUT | 40h 21h | なし | 入力信号の状態を戻す |
| DISPLAY | 40h 25h | なし | 画面表示の状態を戻す |
| VOLUME | 40h 23h | なし | ボリュームの状態を戻す |
| MUTE | 40h 24h | なし | ミュートの状態を戻す |

本機が回答コマンドで応答する際、デフォルトの状態をあらわす 1 バイトのデータコードが付加されます。

回答コマンドに付加されるデータコードは、つぎの通りです。

POWER 7Fh (電源オン)
INPUT 04h (RGB1)
DISPLAY 00h (画面常時オフ)
VOLUME 14h (音量 20)
MUTE 00h (MUTE オフ)

補 足

ファンクション「POWER」を受信した際の、本機の送信する回答コマンドは、「41H、11h、7Fh」となります。

質問コマンド

質問コマンドは、本機の状態をモニタします。本コマンドにデータコードはありません。本機の状態は変化しません。本機が質問コマンドを正しく認識すると、該当する動作（モニタ）を行い、回答コマンドで応答します。

| ファンクション | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|-------------|------------|--------|------------------|
| POWER | 20h 11h | なし | 電源の状態を通知 |
| INPUT | 20h 21h | なし | 入力信号の状態を通知 |
| DISPLAY | 20h 25h | なし | 画面表示の状態を通知 |
| VOLUME | 20h 23h | なし | ボリュームの状態を通知 |
| MUTE | 20h 24h | なし | ミュートの状態を通知 |
| CMD SET Ver | 20h 03h | なし | コマンドセットのバージョンを通知 |

本機が回答コマンドで応答する際、データコード（本機の状態）が付加されます。回答コマンドに付加されるデータコードは、「回答コマンド」（P.57）を参照してください。

補 足

ファンクション「POWER」を用いる事で、本機の内部で検出されている異常をモニタできません。

回答コマンド

回答コマンドは、デフォルト設定コマンド、操作コマンド、質問コマンドに対する応答として本機からパソコンに送信されます。

回答コマンドのファンクションコードとデータコードはつぎの通りです。

| ファンクション | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|--------------|------------|-------------|--|
| POWER ON | 11h 11h | 011xxxx0B | 電源 (POWER) ファンクションの回答 |
| POWER OFF | 11h 11h | 011xxxx1B | |
| ランプ正常 | 11h 11h | 011xxx0xB | |
| ランプ異常 | 11h 11h | 011xxx1xB | |
| 扉正常 | 11h 11h | 011xx0xxB | |
| 扉異常 | 11h 11h | 011xx1xxB | |
| ファン正常 | 11h 11h | 011x0xxxB | |
| ファン異常 | 11h 11h | 011x1xxxB | |
| 温度正常 | 11h 11h | 0110xxxxB | |
| 温度異常 | 11h 11h | 0111xxxxB | |
| INPUT RGB1 | 11h 21h | 04h | 入力信号 (INPUT) ファンクションの回答 |
| INPUT RGB2 | 11h 21h | 05h | |
| INPUT VIDEO1 | 11h 21h | 01h | |
| INPUT VIDEO2 | 11h 21h | 02h | |
| INPUT VIDEO3 | 11h 21h | 03h | |
| DISPLAY ON | 11h 25h | 00h | 画面表示 (DISPLAY) ファンクションの回答 |
| DISPLAY OFF | 11h 25h | 01h | |
| VOLUME n | 11h 23h | xxh | ボリューム (VOLUME) ファンクションの回答 n は 0 ~ 63d、xxh は 00h ~ 3Fh |
| MUTE ON | 11h 24h | 00h | ミュート (MUTE) ファンクションの回答 |
| MUTE OFF | 11h 24h | 01h | |
| CMD SET Ver | 12h 03h | 01h 00h (例) | コマンドセットバージョンファンクションの回答 例ではバージョン 1.00 をあらわします。 本ファンクションのデータコード長は 2 バイトです。 |

エラーコマンド

未定義のファンクションコードを受信した場合または選択中の入力信号に対して適用できない場合、00h yyh の形式でコマンドエラーで応答します（yyh は、パソコンから送信された制御コマンド中ファンクションコードの第2バイト - コマンドの内容 - です）。

未定義のデータコードを受信した場合または現在の状態に対して適用できない場合、コマンドの種類（ファンクションコード第1バイトのビット6~4）を0hに変更し、ファンクションコード0xh yyh、データコードXの形式で応答します。

| エラーの状態 | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|-------------------|------------|--------|---|
| ファンクションコード部でエラー検出 | 00h yyh | (なし) | 未定義のコマンドの内容 (yyh) を受信した場合の応答。 |
| データコード部でエラー検出 | 0xh yyh | X | 未定義のデータコード (X) を受信した場合の応答。 データコードの長さは、xh の指定によります。 |

フレームエラーコマンド

パソコンが制御コマンドを送信している際に本機で必要な情報が500ms以内に受信されなかった場合、フレームエラーコマンドで応答します。

| エラーの状態 | ファンクションコード | データコード | 説明 |
|------------|------------|--------|---------------------|
| フレームエラーを検出 | 70h 70h | なし | 規定時間内に必要な情報が受信されない。 |

フレームエラーを検出した場合、パソコンから何らかの制御コマンドを受信するまで1秒間隔で最大10回までフレームエラーコマンドを送信します。

タッチパネル制御ソフトウェアのインストール

タッチパネル制御ソフトウェアは、Windows95/98 専用です。WindowsNT では動作しません。

インストール

すでに制御ソフトウェアがインストールされていて、再インストールする場合は、制御ソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールしてください。

フロッピーディスク内の「SETUP.EXE」を起動します。

警告が表示された場合は、[アプリケーションの実行] ボタンを押してください。

「ようこそ」画面の内容を確認した後、[次へ>] ボタンを押します。

「セットアップ方法の選択」を行います。

- ・ 標準 本体とユーティリティの一部をインストールします。
- ・ コンパクト 本体のみをインストールします。
- ・ カスタム インストールするユーティリティを選択します。

どの項目を選択しても、ソフトウェアはインストールされます。

選択したら、[次へ>] ボタンを押します。

制御ソフトウェアが、Windows95/98 のシステムディレクトリにインストールされます。このとき、システムファイル「SYSTEM.INI」は書き換えられます。書き換える前の「SYSTEM.INI」ファイルは、「SYSTEM.ELO」というファイル名で保存されます。

タッチパネルコントローラと接続方法を選択します。

MB ソフトウェアは、MODEL5810 だけに対応しています。タッチパネルコントローラからのシリアルケーブルを接続した COM ポート (1 または 2) を選択してください。

- ・ EISA-Bus[2856-35] IRQ=5ADDRESS=0x280
- ・ シリアル[MODEL2310,5810] COM ポート 1
- ・ シリアル[MODEL2310,5810] COM ポート 2
- ・ その他

選択したら、[次へ>] ボタンを押します。

制御ソフトウェアのアイコンを、スタートメニューの「MonitorMouseforWindows95」フォルダに登録し、[次へ>] ボタンを押します。

インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

コンピュータを再起動したら、コントロールパネルから「Touchscreen」を起動して、位置補正の操作を行ってください。

アンインストール

アンインストールには、次の3つの方法があります。いずれかの方法でアンインストールを実行してください。

方法 1

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使用して、「MonitorMouseforWindows95」を削除してください。この場合、削除を実行する前に、「コントロールパネル」を閉じてください。

方法 2

「MonitorMouseforWindows95」フォルダの中にある、「MonitorMouseforWindows95の削除」を実行します。

方法 3

上記の方法 1、2 を使用しないで、次の方法で削除します。

Windows の SYSTEM ディレクトリにある以下のファイルを削除します。

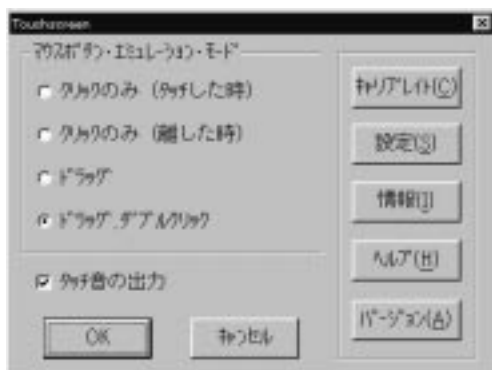
「MONMOUSE.CPL」、「MONMOUSE.HLP」、「MONMOUSE.VXD」
「SYSTEM.INI」ファイルの [386Enh] セクションから次の行を削除します。

```
device=monmouse.vxd
```

タッチパネルの調整

MB ソフトウェアでは、タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置とを一致させるよう調整することができます。

コントロールパネルに登録された「Touchscreen」を起動すると、次の設定画面が表示されます。この設定画面は、出荷時の状態のもので、



以下では、この画面で設定できる項目について説明します。

「キャリブレイト」

タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させる位置補正を行います。

1. [Touchscreen] 画面で、[キャリブレイト] ボタンを押します。
画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が表示されます。
2. 画面に表示される 3 点（左上、右下、右上）を指などで押します。
この点を補正点といいます。
3. [OK] ボタンを押します。
補正点はレジストリファイルに保存されます。
一度保存しておくで、ディスプレイや解像度の変更されない限り、操作 2 で補正したデータが使われるので、以降調整する必要はありません。

「マウスボタン・エミュレーション・モード」の設定

マウスのエミュレーション・モード、つまり指などでタッチしたときの設定は、以下の4種類から選ぶことができます。

| | |
|-----------------|--|
| クリックのみ（タッチしたとき） | 指などでタッチしたときをクリックとみなします。 |
| クリックのみ（離れたとき） | 指などを離れたときをクリックとみなします。 |
| ドラッグ | ドラッグをサポートします。 |
| ドラッグ、ダブルクリック | ドラッグ、およびダブルクリックをサポートします(MB ソフトウェアは、このモードの設定で使います)。 |

「タッチ音の出力」の設定

タッチしたとき音を出す、または音を消すよう設定することができます。

[タッチ音の出力] チェックボックスをチェックしておく、ディスプレイをタッチするたびに音（ピープ音）が出力されます。

「設定」

[設定] ボタンを押すと、[TouchscreenSetup] 画面が表示されます。タッチパネルコントローラの接続方法の設定内容が記されています。設定内容を確認してください。変更する必要はありません。



「情報」

[情報] ボタンを押すと、「Touchscreen」のコントローラおよびドライバの情報が表示されます。

「ヘルプ」

[ヘルプ] ボタンを押すと、「Touchscreen」のヘルプが表示されます。

「バージョン」

[バージョン] ボタンを押すと、「Touchscreen」のバージョンが表示されます。

索引

記号

| | |
|-------------------|--------|
| ▲ ▼ ◀ ▶ ボタン | 14, 25 |
| / 音量ボタン | 11 |
| ⊕ ボタン | 25 |

D

| | |
|-------------------|----|
| DISPLAY | 14 |
| DISPLAY ボタン | 24 |

E

| | |
|-----------------|----|
| ENTER ボタン | 14 |
|-----------------|----|

M

| | |
|----------------|--------|
| MENU ボタン | 14, 25 |
| MUTE ボタン | 14 |

R

| | |
|-------------------|--------|
| RGB 設定 | 44 |
| 拡大 | 44 |
| 画面調節 | 44 |
| RGB 入力切替ボタン | 11 |
| RGB ボタン | 14, 25 |

S

| | |
|----------------|----|
| S 映像入力端子 | 21 |
|----------------|----|

V

| | |
|---------------------|--------|
| VIDEO1 入力 | 21 |
| VIDEO3 入力 | 22 |
| VIDEO 入力切替ボタン | 11 |
| VIDEO ボタン | 14, 25 |
| VOLUME- 音量ボタン | 14 |
| VOLUME- 音量ボタン | 14 |
| VOLUME-音量ボタン | 25 |

あ

| | |
|----------------|---------------|
| 移動用取っ手 | 7 |
| インジケータ | 9, 10, 12, 30 |
| インジケータ部 | 6 |
| 映像設定メニュー | 39 |
| 明るさ | 39 |
| 色あい | 40 |
| 色温度 | 40 |

| | |
|------------------|--------|
| 色の濃さ | 39 |
| エンハンサ | 40 |
| 画質 | 40 |
| 黒レベル | 39 |
| 標準モード | 40 |
| 映像入力端子 | 21 |
| 映像の調整のしかた | 47 |
| 音声設定メニュー | 41 |
| 高音 | 41 |
| 低音 | 41 |
| バランス | 41 |
| 音声入力端子 | 21 |
| 温度警告インジケータ | 10, 30 |

か

| | |
|------------------|-----------|
| 外形寸法 | 35 |
| 開梱 | 15 |
| 画面調節の詳細設定 | 45 |
| 位相 | 46 |
| クロック | 46 |
| 自動調節 | 45 |
| 垂直位置 | 45 |
| 水平位置 | 45 |
| 標準モード | 46 |
| キーボードテーブル | 6 |
| キャリブレイト | 61 |
| 吸気口 | 7 |
| 光源ランプの交換 | 32 |
| 工場出荷時設定 | 43, 46 |
| コントラスト | 40 |
| コントロールパネル | 8, 11, 21 |
| コントロールパネル部 | 6 |

さ

| | |
|-------------------|-----------|
| 最大解像度 | 50 |
| 主電源スイッチ | 6, 13, 23 |
| スクリーンの電源の接続 | 17 |
| スピーカー | 6 |
| 製品仕様 | 34 |
| 設置 | 15 |
| 設置スペース | 35 |

た

| | |
|----------------|--------|
| タッチパネルリセットスイッチ | 6 |
| タッチ音 | 62 |
| タッチパネル | 23, 61 |
| タッチパネルコントローラ | 7 |
| タッチパネル制御 | |
| ソフトウェアのインストール | 59 |
| アンインストール | 60 |
| タッチパネルのガラス | 26 |
| タッチパネルの調整 | 61 |
| タッチパネルリセットスイッチ | 13 |
| データコード | 52 |
| テーブル | 20 |
| テーブルの積載重量 | 26 |
| 電源インジケータ | 9, 30 |
| 電源コネクタ | 7 |
| 電源タップ | 7 |
| 電源タップの電源容量 | 26 |
| 電源の接続方法 | 17 |
| 電池の入れ方 | 16 |
| 登録されている信号形式 | 50 |

な

| | |
|-------|----|
| 入力端子部 | 12 |
|-------|----|

は

| | |
|----------------------|----|
| 排気ファン | 7 |
| パソコン映像の調整のしかた | 48 |
| 簡単な映像の調整のしかた | 48 |
| 自動調節を行うときの注意 | 48 |
| 微調整のしかた | 49 |
| 標準の設定に戻す | 49 |
| パソコンから本機の機能を 制御する | 51 |
| インターフェース | 51 |
| エラーコマンド | 58 |
| 回答コマンド | 57 |
| 画面・音声調整の操作に 関する機能 | 54 |
| コマンド送受信時の詳細手順 | 53 |
| 質問コマンド | 56 |
| 制御コマンド構成 | 52 |

| | |
|-------------|----|
| 制御シーケンス | 53 |
| 操作に関する機能 | 54 |
| デフォルト設定コマンド | 55 |
| フレームエラーコマンド | 58 |

| | |
|-------------|----|
| パソコン収納部 | 6 |
| パソコンの接続方法 | 19 |
| パソコンの電源 | 26 |
| バックカバー | 7 |
| ビデオ・DVD等収納部 | 6 |
| ファンクションコード | 52 |
| プリンタ収納部 | 6 |
| フレームエラー | 58 |
| 他の設定 | 42 |
| 言語 | 42 |
| ライン補間 | 42 |
| ランプ時間 | 42 |
| 本機主電源の接続 | 18 |
| 本体端子部 | 8 |

ま

| | |
|-------------------------|----|
| マウスボタン・エミュレーション ・モード | 62 |
| メニュー | 36 |
| メニューの設定 | 38 |

ら

| | |
|-------------|--------|
| ランプ警告インジケータ | 10, 30 |
| ランプ時間の表示説明 | 43 |
| ランプ時間 | 43 |
| ランプメッセージ | 43 |
| リセット | 43 |
| リア端子 | 8 |
| リア端子部 | 7, 22 |
| リモコン受光部 | 10 |
| リモコン発光部 | 14 |

わ

| | |
|-----------|--------|
| ワイヤレスリモコン | 14, 24 |
|-----------|--------|

記載内容訂正のお知らせ

P 8 : リア端子の名称

誤 CONTROL (P . 5 1)

正 RS - 2 3 2 C (P . 5 1)

P 1 9 : パソコンの接続方法

誤 付属のRS - 2 3 2 Cクロスケーブル

正 付属のRS - 2 3 2 Cストレートケーブル

P 3 4 : 製品仕様の注 1)

誤 Sビデオは同一系統です

正 Sビデオは独立した系統です

P 3 4 : 製品仕様の注 2)

誤 前後音声入力

正 前部音声入力